



SEADS研修生は新規就農を目指し、各地で実習を行っています。  
鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった研修生をあたたくご支援ください。

SEADSのホームページは  
こちらの二次元コードから  
ご覧いただけます。

## 令和8年度入校式

4月2日（木）、令和8年度入校式を執り行いました。今年度は地元から5名、1ターン・Uターン者が8名の計13名が入校しました。新入生を代表して、埼玉県出身の丸山さんは「元アスリートの経験から食の大切さを実感した。鶴岡市の農業の発展に貢献していきたい。」と決意を述べられました。



(入校式での答辞)

## 実習受入農業者との顔合わせ

新年度が始まり、受入農業者と研修生との合同説明会が行われました。昨年度に引き続いて同じ農業者のもとで研修を受けている研修生に対して「1年前と比べると安心して任せられるようになってきた」との言葉を頂き、成長が感じられる場面が見受けられました。



(受入農業者との顔合わせ)

## 湯田川の伝統に学ぶ

1年生が、湯田川に稲の芽出し作業の視察に行きました。温泉水を用いた芽出しは、江戸時代から続く伝統的な手法で、全国的にも珍しい取り組みです。研修生からは、この地域ならではの特徴を活かし、付加価値をつけて販売やブランド化につなげられないか、という意見も出されました。



(湯田川催芽場での視察)

## 新任のご挨拶～研修生に向けて～

「稲は人の足音を聞いて育つ」。頻りに田んぼに通い、きめ細やかな観察と管理をすることで稲が健全に育つという意味です。皆さんは、徹底的に作物と向き合って自らの目を磨き、そして、生育の良し悪しを診断し、対処法を判断できる力を身につけてください。



農業技術アドバイザー  
佐野 智義



この日は、SEADS農場にて  
なすの接ぎ木を行いました。